

事業評価個票（事業実施：令和6年度）

（様式1）

事業名	地球温暖化対策推進事業費		開始/終了(予定)年度	令和6 / 未設定		活動指標		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
部局・担当課名	環境エネルギー部 環境企画課					活動指標及び活動実績 (アウトプット)	①市町村を対象とした情報提供や意見交換の回数	活動実績							
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱4]県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり [政策2]暮らしの様々なリスクへの対応力の強化						当初見込み	回	5					
	施策	[施策] ー						活動実績							
	目標指標	ー						当初見込み							
事業の目的	気候変動適応法の改正に伴い、令和6年4月から市町村にて指定が可能となる指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）について、市町村の取組みを支援するとともに、県民に広く周知する。					活動指標及び活動実績 (アウトプット)	②	活動実績							
事業概要 (令和6年度の実施内容)	【市町村への支援】 指定暑熱避難施設の指定の必要性や効果的な活用方法等について、市町村を対象に情報提供や意見交換等を行い、県全域で指定暑熱避難施設が指定されるよう市町村の取組みを支援する。 【県民への普及啓発】 県内の指定暑熱避難施設の位置情報等を示すWEBマップを作成し、県民に広く周知し、活用を促す。	当初見込み													
		活動実績													
		当初見込み													
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 () 上記実施方法とする理由： 指定暑熱避難施設の指定状況に応じて、WEBマップを迅速に更新するため、直接実施					成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標（所管部局の分析）		単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
当初予算額 (単位：千円)	予算見積書グループ名 ① 指定暑熱避難施設（クーリングシェルター） ② ③ ④ 計	令和6年度 337 337	令和7年度 -	令和8年度 -	令和9年度 -		令和10年度 -	①指定暑熱避難施設を指定した県内市町村数	成果実績	市町村数					
									目標値	市町村数	35				
									達成度	%					
						②			成果実績						
目標値															
達成度	%														
③	成果実績														
	目標値														
	達成度	%													
④	成果実績														
	目標値														
	達成度	%													
活動指標及び成果指標設定の考え方															
財源内訳 (単位：千円)	国庫支出金						「指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）」制度は、法改正により新たに設けられた制度であることから、「活動指標」には、制度への理解と指定に向けた支援として、「市町村を対象とした情報提供や意見交換の回数」を設定し、「成果指標」には「指定暑熱避難施設を指定した県内市町村数」を設定した。								
	県債														
	その他特定財源														
	一般財源		337												
計		337													

事業所管部局による評価・検証（令和 年 月）

項目	評価(ABC)	評価に関する説明	課題
事業の必要性 事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。 また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。			
事業の効率性 支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 また、類似事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。			
事業の有効性 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。			
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			

（評価基準）「事業の必要性・事業の効率性 A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い」
 「事業の有効性(達成度) A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:おおむね目標どりの成果、活動見込をおおむね達成(80%以上100%未満)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(80%未満)」